

情報科学科 アドミッション・ポリシー

① 基本方針

情報科学や情報工学は、情報を科学的・工学的手法によりさまざまな形で利用する総合的な学問分野です。情報の生成、情報の伝達、情報の収集、情報の蓄積、情報の処理などの分野があり、それぞれ大きな発展を遂げてきました。

情報科学科では、コンピュータのソフトウェアやコンピュータと人間とのコミュニケーションを基礎として、人工知能、インターネットを利活用するためのネットワークやサーバの技術、社会や生活のあらゆるところにコンピュータの利便性をもたらす新しい情報技術についての教育・研究を行います。

そのために、以下のような資質・能力・意欲を持った学生を受け入れます。

② 求める人材像と学力の3要素

| 求める人材像 | | 知識 | 思考力 | 主体性 |
|-----------------------------------|---|----|------------|------------|
| | | 技能 | 判断力 表現力 | 多様性 協働性 |
| 情報技術を利用した、安心・快適な社会の実現に向け意欲のある人 | → | △ | ○ | ◎ |
| 産業の活性化を支える実践的人材を志す人 | → | ○ | ◎ | △ |
| 生涯にわたり、自らの専門能力を高め、広げることに意欲を持っている人 | → | △ | ◎ | ○ |
| 情報科学を学ぶための基礎学力を有し、高い勉学意欲のある人 | → | ◎ | ○ | △ |

③ 学力の3要素と求める多面的な評価

学力の3要素

| | | | | | | | |
|-------------|---|------|-----|-------|------|----|------|
| 知識・技能 | → | 学力試験 | 調査書 | 発表 | 推薦書 | 面接 | 口頭試問 |
| 思考力・判断力・表現力 | → | 学力試験 | 調査書 | 発表 | 課題提出 | 面接 | |
| 主体性・多様性・協働性 | → | 推薦書 | 面接 | 自己推薦書 | | | |

④ 入学者選抜方法における評価の比重

| 入学者選抜方法 | 学力試験 | 調査書 | 発表 | 課題提出 | 推薦書 | 面接 | 自己推薦書 | 口頭試問 |
|-----------------|------|-----|----|------|-----|----|-------|------|
| 総合型選抜 | △ | — | ◎ | — | — | ○ | △ | — |
| 学校推薦型選抜(系列校) | — | ○ | — | ○ | ○ | ◎ | — | △ |
| 学校推薦型選抜(指定校) | — | ○ | — | — | ○ | ◎ | ○ | △ |
| 学校推薦型選抜(公募) | △ | △ | — | — | ○ | ◎ | ○ | — |
| 自己推薦型選抜 | ○ | △ | — | — | — | ◎ | ○ | — |
| 一般選抜[前期・後期学力型] | ◎ | — | — | — | — | — | — | — |
| 一般選抜[後期総合評価型] | ◎ | △ | — | — | — | ○ | — | — |
| 一般選抜(共通テスト利用選抜) | ◎ | — | — | — | — | — | — | — |
| 外国人留学生選抜 | ○ | — | — | — | — | ◎ | — | — |

⑤ 入学前に習得すべき内容・水準

- ・情報科学に関心を持ち、情報科学を学ぶために必要な国語、数学、英語などの基礎的な知識や技能を有していること。
- ・基礎的な知識や技能に基づいて問題を論理的に考察し解決することに努め、自身の考えを表現することができること。
- ・自らの成長のために主体的に行動し、他者に働きかけ多様な意見や考えを共有しながら問題解決に取り組むことができること。

※記号(◎, ○, △)は重要度の順序を表しています。